

| | | | |
|--------------------------|---|---------|---|
| 1. 科目名 (単位数) | 多文化コミュニケーション (2 単位) | 3. 科目番号 | |
| 2. 授業担当教員 | 落合 哉人 | | |
| 4. 授業形態 | 講義、ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表 | 5. 開講学期 | 秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 多文化理解入門を受講していることが望ましい。 | | |
| 7. 講義概要 | グローバル化が進むにつれ、異なる母語・習慣・価値観をもった人たちが同士の多文化コミュニケーションは日常的になりつつある。本講義は、自分の視野をこのような多文化「共生社会」にむけて広げ、必要とされるコミュニケーション能力を修得することを目的とする。具体的には、多文化コミュニケーションを構成する「言語」「コミュニケーション」「文化」の3つの基本的概念を理解し、多文化コミュニケーションのしくみを理解する。次に、様々なコミュニケーション活動や教科書のエクササイズを行い、多文化コミュニケーションのスキルを理解し養っていく。最後にグローバル時代における多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分なりの意見を発信する。 | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 多文化コミュニケーションを構成する基本概念とそのしくみについて理解する。 2. 多文化コミュニケーションのスキルを理解し身につける。 3. グローバル時代の多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分の意見を発信できる。 | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習課題として指定された教科書の課題を実施した上で授業に臨むこと。 ・提出課題 (授業全体を通して計8点) についてきちんと取り組んだ上、提出すること。 ・第9回と第14回の授業では、それまでの学びの振り返りのために小テストを行う。 | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】八代京子ほか著『異文化コミュニケーションワークブック』三修社、2001。 ※そのほか、授業内で適宜資料を配布します。 | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多文化コミュニケーションを構成する基本概念とそのしくみについて理解できたか。 2. 多文化コミュニケーションのスキルを理解し身につけることができたか。 3. グローバル時代の多文化コミュニケーションの役割と多文化共生の在り方について自分の意見を発信できたか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | この授業では、「異文化・多文化」とは何か、というところから一歩進んで、具体的にどのような形で「文化」と「文化」の間のコミュニケーションが生じるのか実践を通して考えていきます。授業では、実際にみなさんに書いてもらう場面・話してもらう場面を多く設けますので、積極的に学びを深める姿勢を求めます。 | | |
| 13. オフィスアワー | 授業内で知らせる。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | イントロダクション: 「コミュニケーション」と「異文化」の関係について考える | 事前学習 | 「異文化」という語がどのようなことを指すか復習しておく。 |
| | | 事後学習 | 講義内容を整理する。 |
| 第2回 | 自己紹介をしよう (1): 自己を紹介するとは? | 事前学習 | 自己紹介において何を話すか考えておく。 |
| | | 事後学習 | 「話した自己紹介」と「書いた自己紹介」の違いを整理する。 |
| 第3回 | 第1章 異文化コミュニケーションとは (1): 新しい常識とステレオタイプ | 事前学習 | 教科書 pp. 9-16 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。 |
| | | 事後学習 | 宿題 (役割語・発話キャラクタの事例を調べる) に取り組む。 |
| 第4回 | 第1章 異文化コミュニケーションとは (2): 異文化理解への態度 | 事前学習 | 教科書 pp. 17-21 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。 |
| | | 事後学習 | 授業で学んだことをノートにまとめる。 |
| 第5回 | 第1章 異文化コミュニケーションとは (3): 文化とコミュニケーション | 事前学習 | 教科書 pp. 22-35 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。 |
| | | 事後学習 | 授業で学んだことをノートにまとめる。 |
| 第6回 | 自己紹介をしよう (2): 「文化」を紹介する | 事前学習 | 自分がどのような「文化」に所属するか考えておく。 |
| | | 事後学習 | 自分の発表と他者の発表を通して得た気づきについてノートにまとめる。 |

| | | | |
|------|---|------|--|
| 第7回 | 第2章 コミュニケーション・スタイル: コンテキスト、双方向コミュニケーション、パラ言語 | 事前学習 | 教科書 pp. 39-45 及び pp. 51-57 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。 |
| | | 事後学習 | 授業で学んだことをノートにまとめる。 |
| 第8回 | 第3章 言語コミュニケーション(1): 言語コミュニケーション(1): ほめ方、叱り方、謝り方 | 事前学習 | 教科書 pp. 61-72 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。 |
| | | 事後学習 | 授業で学んだことをノートにまとめる。 |
| 第9回 | 第3章 言語コミュニケーション(2): 自己紹介、誘い方と断り方/小テスト(1) | 事前学習 | 教科書 pp. 73-77 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。また、ここまで学んだことを今一度復習する。 |
| | | 事後学習 | 授業で学んだことをノートにまとめる。 |
| 第10回 | 自己紹介をしよう(3): 他者の視点を通して学ぶ | 事前学習 | 第2回及び第6回で書いたことを他者に共有できるように改めて整理しておく。 |
| | | 事後学習 | 自分の発表と他者の発表を通して得た気づきについてノートにまとめる。 |
| 第11回 | 第4章 非言語コミュニケーション | 事前学習 | 教科書 pp. 81-100 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。 |
| | | 事後学習 | 授業で学んだことをノートにまとめる。 |
| 第12回 | 第5章 価値観 | 事前学習 | 教科書 pp. 103-108 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。 |
| | | 事後学習 | 授業で学んだことをノートにまとめる。 |
| 第13回 | 第7章 異文化コミュニケーションスキル(1): 「D. I. E. メソッド」「アサーティブ・コミュニケーション」 | 事前学習 | 教科書 pp. 137-149 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。 |
| | | 事後学習 | 授業で学んだことをノートにまとめる。 |
| 第14回 | 第7章 異文化コミュニケーションスキル(2): 「エポケー」「アイ・ステートメント」/小テスト(2) | 事前学習 | 教科書 pp. 150-162 の「セルフチェック」と「ステップアップエクササイズ」を教科書またはノートに書きこんでおく。また、ここまで学んだことを今一度復習する。 |
| | | 事後学習 | 授業で学んだことをノートにまとめる。 |
| 第15回 | フィードバックとディスカッション | 事前学習 | 教科書・ノートを今一度確認し、十分にわかっていないところがないか探す。 |
| | | 事後学習 | 講義を通して学んだ内容を実生活で生かす。 |